

● 本会の動き ●

☆第18回化学工学会学生発表会 浜松大会てんまつ記☆

第18回化学工学会学生発表会(浜松大会)は、平成28年3月5日(土)に、静岡大学浜松キャンパス(静岡県浜松市)にて開催されました。この学生発表会は、化学工学会として、若者の理科離れの阻止と魅力ある理科教育推進方策の一環として企画され、東西日本の2会場で年に1回、原則として3月の第1土曜日に開催しています。化学工学会年会など学会の研究発表では光を当てにくい大学4年生までと高専生(専攻科生含む)、そして高校生を対象とし、年令に応じた科学の実験を行い、得られた結果を整理して発表することで有為な人材育成に資することを目的としています。今回の浜松大会は、東日本地区の会場としては初めて東海地区(東海支部)にて開催されました。

当日は、天候に恵まれ、暖かい陽気の中での大会となりました。東海地区は東日本地区から見れば西のはずれになりますので参加者数が懸念されましたが、東北地区をはじめ、遠方からも多数の参加をいただき、最終的には約180名の参加者数となりました。参加された皆様方に厚く御礼を申し上げます。

講演の件数は114件あり、うち高専が20件、高校が10件でした。講演はすべて口頭発表形式(発表10分、質疑応答4分)で行われました。発表会は9時30分から15時45分まで、6会場に分かれました(いずれも静岡大学浜松キャンパス総合研究棟)。大学生(4年生)と高専生、高校生といった、学会での発表経験がほとんどない学生や生徒たちですが、しっかりと練習を積んだ分かりやすい発表であり、各会場で熱のこもった議論がなされました。座長を快くお引き受けいただきました皆様方には深く感謝申し上げます。



発表風景

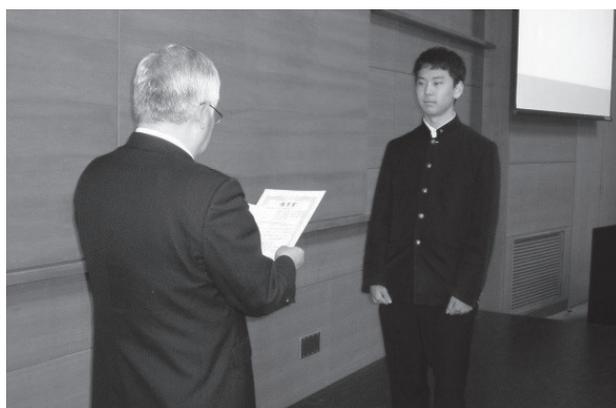
一般講演の終了後、16時から静岡大学浜松キャンパスの佐鳴会館(会議室)に場所を移して特別講演を開催しました。講師は静岡

大学大学院教授の山極芳樹氏であり、「宇宙エレベーター；その原理と研究開発の現状」の演題でご講演いただきました。宇宙エレベーターとは、地上と宇宙ステーションをケーブルで繋ぎ、そのケーブルを昇降するクライマによって地球-宇宙間で物資を輸送する宇宙輸送システムです。講演では現在の研究開発の状況や実現に向けての課題について解説いただきました。夢のあるお話に、学生や生徒たちも大変興味をそそられたようでした。



特別講演風景

特別講演の後には、化学工学会人材育成センターの上ノ山周氏(副センター長、横浜国立大学教授)から「化学工学会の『技術者生涯にわたる教育支援』活動」について説明があり、また化学工学会のインターンシップ制度を利用した中本雄介氏(静岡大学大学院学生)の体験談を伺いました。その後に優秀賞および奨励賞の表彰式を行い、優秀賞12件、奨励賞10件が表彰されました。優秀賞には高校生の研究グループも選出されており、高校生といえども発表レベルの高さに感心した次第です。



授賞式風景

交流会は、浜松キャンパス佐鳴会館のホールにて行いました。実行委員長の野村聡一氏(化学工学会東海支部長、東亜合成株式会社)、佐古猛氏(静岡大学工学部長)、須藤雅夫氏(公益財団法人天野工業技術研究所理事)の方々よりご挨拶をいただき、歓談タイムへと移りました。交流会には約100名の方が参加され、アルコール

ルなしの交流会ですが、たくさんの美味しい料理を食しながら充実した歓談タイムとなりました。そして、次回開催予定の東京農工大学 山下善之氏よりご挨拶をいただいて閉会となりました。

今回の大会では、公益財団法人天野工業技術研究所および静岡大学から多くの協賛金と支援金をいただきました。そのお蔭で、参加者へのUSBメモリやバッグの配布、交流会のグレードアップを図ることができ、これまでにない参加者へのサービスにつながりました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。また、本大会の準備や運営にご尽力いただきました方々にも深く感謝申し上げます。最後に、今回発表いただきました学生や生徒の皆様方の今後のご発展をお祈りし、本大会のてんまつ記とさせていただきます。

優秀賞受賞者

小野 駿平(岐阜大)

「SAPO-18合成における有機シラン添加が吸着特性に及ぼす影響」

久保 大地(東洋大)

「エレクトロフェントン法におけるOHラジカルの生成」

桜庭 一樹(群大)

「誘電回転法を用いた動物細胞の同定と活性評価」

早川 尚輝(八戸高専)

「CeO₂ナノ粒子における修飾分子-溶媒の組み合わせによる分散性の変化」

木村 友巳(宇都宮大)

「塗布熱分解法により作成したパラジウム水素センサーの性能評価」

井上 亮平(東北大)

「重質炭化水素改質を目的とした結晶面制御酸化セリウムナノ粒子の触媒活性評価」

河村 洋佑(東大)

「超臨界流体を用いた銅製膜における反応器内容積の地下依存性への影響」

永田 夕貴(静大)

「生物難分解性成分を含む産業廃棄物の微生物処理」

幸寺 健悟(東工大)

「余剰汚泥のアルカリ処理による有機酸発酵の効率化」

藤田 祐也・杉本 政隆・鈴木 啓太・宮本 天樹・野中 雄仁・大谷 裕人(浜松北高)

「鉛蓄電池の充放電効率 Part3 ～PbOペースト塗布による電池性能の向上～」

渡邊 継(静大)

「Pt/TiO₂触媒上のメチルシクロヘキサン脱水素過程のIR観察」

吉田 慎吾(信州大)

「超臨界溶体急速膨張法を利用したS-(+)-ナプロキセンのナノ粒子創製技術の開発」

奨励賞受賞者

高田 耕佑・廣澤 拓哉・山下 大貴・成田 彰(東工大附属高校)

「益子焼の釉薬の発色再現と発色メカニズム」

健山 ありさ・羽山 侑志・楠本 竜万・山中 夏樹(青翔高校)

「金属樹の規則性について」

村山 泰暉・山口 悟(水戸一高校)

「サリチル酸/メタノール系における安全なサリチル酸メチルの合成」

松田 樹生也・山口 悟(水戸一高校)

「メイラード反応におけるアルキル基の影響」

岡村 拓海・清水 詠介(韭崎高校)

「甘利山の土壌環境調査」

総谷 剛史・東 聖悟・藤本 恵汰・森川 優希(青翔高校)

「バイオエタノールの製造」

山本 玲維・蕪内 涼太・増田 智(竜ヶ崎一高校)

「バイオリクターを用いたニトロベンゼンの還元に関する研究」

内田 大輝・小林 誠典・坂本 拓斗(韭崎高校)

「アルギン酸ビーズを用いたアルコール発酵システムの開発」

東ヶ崎 駿・山口 悟(水戸一高校)

「酸化亜鉛の光触媒作用に関する研究」

小野 遼真・田中 駿乃介・城石 英伸(東京高専)

「鉄コバルト錯体を前駆体とした酸素還元触媒の調製時におけるアンモニア流量依存性」

(注)優秀賞受賞者の氏名は登壇者のみ掲載

(第18回化学工学会学生発表会浜松大会実行委員会記)